

秋道沢右俣

シゲタシヨウ、カミヤシヨウ
一九八四年七月二十九日

一二時一五分、下降開始。ガレ場をブッシュにつかまりながら下る。一五分で秋道沢右俣の源頭に出る。源頭はウルイの大群落。ちょうど花の盛りで、とにかくきれいだである。水が出てくると、すぐ七びの滝。

そして左岸から支流を合わせた先には次々に滝がかかる。五び前後の滝がほとんどで、全てクライミングダウン。

沢がじ字峡状になった先も連瀑帯が続く。最後の六び三段滝を下って



秋道沢はこの地域の中でも特に面白い

ようやく連瀑帯も終了。大きな滝はかからないが、沢登りの楽しさを充分に満喫できた。連瀑帯を終えると、あとは二俣まで倒木の多い沢の下りである。一三



右俣の下降も滝が続いた

時三五分、二俣着。これより本流の連瀑帯をクライミングダウンで下る。思ったより楽に降りられた。一四時、林道に出て、今日の行動を終える。

(記)

「タイム」 下降開始(一二:一五) ↓
二俣(一三:三五) ↓ 林道(一四:〇〇)

